

ニュージーランド 北島 ルアペフ山 山行報告書

No. 4

日程：2025 年〔令和 7 年〕2 月 5 日

コース：トゥランギ宿 ⇒ スカイワカゴンドラ → ルアペフ山 ドーム → スカイワカゴンドラ
⇒ トゥランギ宿

参加者：岡村繁雄 他 1 名

ルアペフ山の北面は、冬季は、ファカパパ（Whakapapa）スキー場で、夏季山麓は、ハイキングコースが整備されているようであった。

スカイワカゴンドラ（Sky Waka gondola）は、事前の資料では、9 時にチケットを購入して 9 時 30 分より運転開始とあったが、今回は、9 時前から動いていて、チケットを購入して 9 時過ぎには、ゴンドラに乗ることができた。

ただし、最終が 16 時なのでそれまでには、必ず下山する必要がある。

今日も非常に天気が良く、トンガリロの山々の眺望もなかなかいい。

私はやや風邪気味であるが、歩くには支障のないと判断し登ることとした。

全員ゴンドラで上まで乗車、私と溝尾さんのみルアペフ山のドーム（Dome）〔2,672m〕を目指すこととし、残る 3 名は、ゴンドラで下山後、タラナキ・フォールズ・ウォーク（Taranaki Falls Walk）に向かった。



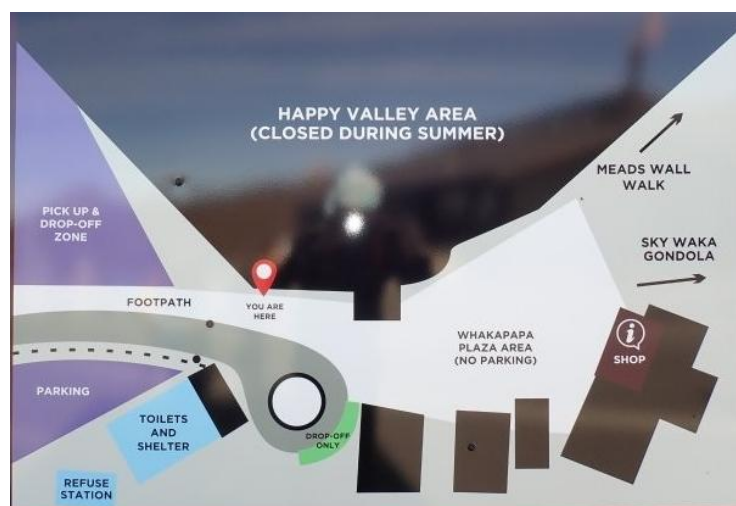
ファカパパ（Whakapapa）スキー場 ホームページより



47 号線の道路沿いより〔右隅のピークあたりを目指す〕



ファカパパ (Whakapapa) の掲示板の前で



スカイワカゴンドラの乗車口付近の案内図



スカイワカゴンドラのチケット売り場



スカイワカゴンドラの乗車口での記念撮影



駐車場所

スカイワカゴンドラより



2020m ゴンドラの終点



出発地点〔Yankee Trail の案内板〕



Yankee Trail の案内板と目印



左がリフト最終の支柱〔Pinnacle Ridge (2,234m) の奥に ナウルホエ山 (2,291m) を望む〕

ゴンドラの終点から1番上のリフト最終の支柱のそこまでは、踏み跡もしっかりしていたが、その後は、徐々に踏み跡がはっきりしなくなった。

2名パーティーが我々の前を登っていたため、ルートもはっきりしないこともあり、彼らの後を追って黙々と登っていった。

しかし先行パーティーを見失い、帯状の岸壁帯に突当ってしまったので、止む無く岩稜を乗り越して、その上のザラザラの斜面を登って、大きな火口の縁にやっとのことで出ることが出来た。



この谷のから左に上り詰め 帯状の岸壁帯を乗り越して大きな火口の縁へ到達



ガラガラの斜面を登って岸壁帯に突き当る



**岸壁帯を乗り越した上のガラガラの斜面を登る
この上が大きな火口の縁**

大きな火口の縁（Te Heuheu Ridge）に出ると、苦勞して登ってきたこともあり目の前に広がる雄大さに圧倒された。



大きな火口の全景〔左側〕（正面ピーク Tukino Peak [2,720m] と Te Heuheu [2,732m] ）



大きな火口の全景〔中央〕（右側岩峰 Cathedral Rocks [2,663m] ）



大きな火口の全景〔右側〕（左 ドーム状のピークが目標の Dome [ドーム] ）



大きな火口のパノラマ写真（右側の広いところが Summit Plateau）



Cathedral Rocks 〔望遠〕



Te Heuheu Ridge を
ドームに向かう

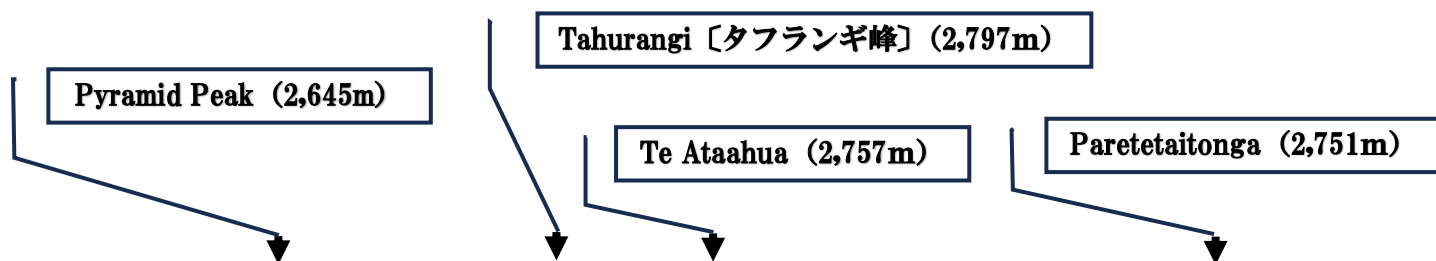


左のなだらかなピークがドーム

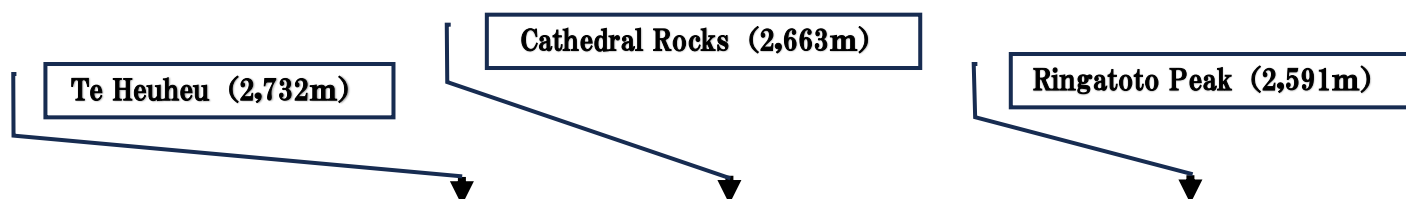
大きな火口沿いにしっかりとした踏み跡があり、前方のドームを目指して進んだ。約3時間を要してたどり着いたドームは、風もほとんどなく快適で、眼下にはクレター湖が望め素晴らしい景色であった。



ドームよりクレター湖（Crater Lake）を望む〔中央 Tahurangi〔タフランギ峰〕（2,797m）北島 最高峰〕



Dome [ドーム] (2,672m) より 南方面のパノラマ写真



Dome [ドーム] (2,672m) より 東方面のパノラマ写真

ドームで出会った地元の登山者より、この辺のピークもトンガリロと一緒に「マリオの聖地なので、山頂に登ることは控えている」とのことだったのであった。

登りのルートの後半誤り、やや苦勞したが運よく天候に恵まれ素晴らしいルアペフ山の山域を体感することが出来た。

30分休憩して下山。





下山時 Paretetaitonga (2,751m) を見上げる





下山開始 中央の鞍部より左に踏み跡がある〔前方 Te Heuheu Ridge〕



先を行く2名のパーティー



Te Heuheu Ridge 鞍部の踏み跡を追って下山



前方の火山監視装置小屋の左側を下る



このあたりは、まだ踏み跡が辛うじて確認できた



岩稜の尾根伝いに下山



岩稜帯になると踏み跡が確認できなくなったため、周辺の地形を確認しながら下山



後方 右の岩尾根を下山



岩尾根より最後のリフトの
支柱手前の谷を渡りリフト
支柱を目指して下山した
〔奥が最後のリフト支柱〕



出発地点のゴンドラの
終点が目の前



15時ゴンドラ乗り場に到着〔後方 Pinnacle Ridge〕

9時30分に出発して、ドームで30分休憩後15時に下山。

休憩を含んで5時間30分の行程でゴンドラの16時の最終には、ゆっくりと間に合った。

正規の一般ルートは、最後のリフト支柱の先から右の谷を渡り、その岩尾根沿いに進み火山監視装置小屋の右わきを通過して、Te Heuheu リッジからドームへ向かうルートであった。

天候が良く見通しが良かったため下山時はそう難しくなかったが、ガスって見通しが利かない場合は、注意が必要である。

今回は、天候に恵まれ素晴らしい景色を堪能することができた。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura